

スタヴロポリプロジェクトストロイ公開株式会社の2002年4月9日付報告書

分解不要の圧縮機処理： 運転圧力への到達、 昇圧時間の短縮

スタヴロポリプロジェクトストロイ公開株式会社、第2建設・据付工事部・承認：技師長V.A.ダヴィドフ・試験委員会：主任機械保全担当者、第2建設・据付工事部長、現場監督

ロシア、スタヴロポリ地方・処理開始：2002年2月15日・確認測定：2002年4月9日

製品

圧縮機・軸受用XADOゲル
XADO RVS・潤滑系統内の濃度を
順次高める3段階処理・使用量18
ml

処理対象

レシーバタンク付き圧縮機
圧縮機シリンダ・潤滑系統・分解
不要、通常運転のまま

文書の種類

圧縮機の処理結果に関する
報告書
(2002年4月9日付)

機械類

作業開始時の状態

測定項目

レシーバタンク付き圧縮
機、
第2建設・据付工事部の現
場

圧力**6 kgf/cm²**未到達；**5 kgf/cm²**まで
の昇圧時間**4 min 30 s**；止め弁からの
空気漏れ

レシーバタンク内の昇圧時間；安全弁
の作動圧力への到達

処理は分解せずに、運転中の対象機に対して実施した。潤滑系統内のXADO RVS濃度を順次高める3段階処理で、期間は2002年2月15日～4月9日である。

主な結果

↑ **6 kgf/cm²**

安全弁の作動圧力、未到達 → 6 minで6 kgf/cm²

↓ **33 s**

レシーバタンク内5 kgf/cm²までの昇圧時間、4 min 30 s
→ 3 min 57 s

レシーバタンクの昇圧：処理前後

パラメータ	処理前	処理後
5 kgf/cm ² までの昇圧時間	4 min 30 s	3 min 57 s
安全弁の作動圧力6 kgf/cm ²	未到達	6 minで到達
止め弁からの空気漏れ	確認	継続、未解消

測定は組立状態の圧縮機で、通常運転のまま実施した。6 kgf/cm²は既設の安全弁の作動圧力である。

試験委員会の結論

スタヴロポリプロエクトストロイ公開株式会社の試験委員会は、報告書に次のとおり記載している：「得られた結果は、XADO技術による補修・再生作業の結果、圧縮機の吐出し量が**12%**増加したと判断する根拠となるものであり、このことは圧縮機シリンダの再生、ひいては消費電力量の低減を示している」。処理前、圧縮機は安全弁の作動圧力**6 kgf/cm²**にまったく到達しなかったが、3段階の処理後は**6 min**でこの圧力に到達する。なお、止め弁からの空気漏れは作業中に解消されず、処理前後いずれの測定時にも存在していた。**5 kgf/cm²**までの昇圧時間は**4 min 30 s → 3 min 57 s**である。この間、対象機は一度も開放されず、現場で稼働を続けた。

XADO

© XADO. 無断転載を禁ずる。

本結果は、スタヴロポリプロエクトストロイ公開株式会社第2建設・据付工事部の現場におけるレシーバタンク付き圧縮機設備に関するものであり、他の機器や異なる運転条件では測定値が異なる場合がある。RVSはXADOの旧称で、第0世代の製品である。現行世代の製品はリバイタリザント（摩擦面再生剤）である。処理はXADO技術の販売代理店が実施した。報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。